

会 議 録

1 会議名

令和3年度第8回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

(1)令和3年度 灯の回廊「まき深山のともしび」の実施について

○自主的審議事項（公開）

(1)あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について

3 開催日時

令和3年12月21日（火）午後6時00分から午後7時20分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：西山新平（会長）、飯田秀治（副会長）、池田幸弘、井上光廣、小黒誠、折笠忠一、坂井雅子、佐藤祐子、清水薫、高澤富士雄、難波一仁、横尾哲郎
- ・事務局：牧区総合事務所 山岸所長、隠田次長、飯田グループ長、藤井班長、田中主事（以下、グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【隠田次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【西山会長】

- ・挨拶。

- ・所長に挨拶を求める。

【山岸所長】

- ・挨拶。

【西山会長】

- ・会議録の確認：高澤委員に依頼。
- ・本日の報告事項である(1)令和3年度 灯の回廊「まき深山のともしび」の実施について、事務局に説明を求める。

【藤井班長】

—資料No. 1に基づき説明—

- ・続いて、次第の報告事項には掲載していないが、議会事務局から情報提供があったので追加で報告させていただく。内容は、議会の総務常任委員会において各区の地域協議会長と総務常任委員会委員との意見交換会を実施したいとの依頼があり、各地域協議会の会長へ直接案内が郵送されるとのことである。日程は、令和4年1月22日土曜日の午後1時30分から2時間程度の予定である。各協議会の会長から出席していただく形になる。意見交換の内容である、「地域協議会の課題」、「地域活動支援事業の課題」、「地域自治区制度のあり方の課題」の3点について、牧区として課題を検討する必要がある。そこで、委員の皆さんから意見をお聞きしたいため、今後アンケートを送付する。事務局で意見内容を集約し、次回1月の地域協議会で内容を確認いただき、22日の意見交換会に会長から出席していただくという予定のため、本日この場で報告させていただく。

【西山会長】

- ・今程の事務局の説明に対し、意見や質問等はないか。
(一同、意見・質問等なし)
- ・意見等が無いようなので報告事項について終了し、続いて自主的審議事項である(1)あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について、事務局より説明を求める。

【藤井班長】

- ・資料はないが前回欠席された委員もいるため改めて内容を説明させていただく。前回の地域協議会では自主的審議事項に取り組むにあたり、さらに他の団体と意見交換会

を行うのか、あるいは現在把握している課題の中から突き詰めていくのか、今後の進め方について協議を行った。その中で、清水委員から「子育て世代が喫茶店のような場所で交流することはできないか」との意見から、現在区内で牧区内外の人との交流を目的に自主的に活動されている3名の方から話を伺うのはどうかとの意見があった。この3名の方と実際に意見交換会を行うのか、あるいは別の方法で進めていくのか、前回欠席された委員も含め改めて協議いただきたい。

【西山会長】

- ・今程事務局から説明があったように、3名の方へ話を伺うという前回の内容を踏まえ今後どのように進めるか協議していきたい。委員お一人ずつ意見を伺いたいと思う。横尾委員より意見を求める。

【横尾委員】

- ・前は、牧区に対する思いや実際に行動に移している動機を伺うなど、的を絞りきれず漠然として話が終わってしまった。いきなりそのように話を持って行ったとしても、3名の方もどうやって説明すれば良いのか、何を主体にして話をするのか困惑されることが考えられる。話し合いを行う場所やグループ分けをして行うかに関しても答えが出ていなかった。それらを整理し、話を持って行く際に分かりやすいようにした方が良いと思う。特徴のある3名の方がそれぞれ地元で根を生やし何とかしていこうという思いは、地域協議会委員の思いと何か共通する点があると思われる。

【難波委員】

- ・牧振興会と意見交換会を行わせていただき、やはり色々な方から話を伺うことは良いことだと思った。3名の方に話を聞くのも良いと思うが、個人で営んでいるため、その点がどうなのかと思う。詳細は分からないが今年始めたばかりの方々なので、まだ試行錯誤や模索状態の部分もあると思われる。それらを踏まえると、例えば区外のお客さんとの付き合いから考え、長年経営している新柳や深山荘から話を聞くのも良いと思う。特段3名の方を否定するわけではないが、とにかく色々な方から話を伺うのは良いことだと思う。

【高澤委員】

- ・私も、3名の方にどのような考えで始められたのかなどをお聞きするのは本当に良いと思う。その過程で、やはり話の持って行き様が意見を聞くにあたり難しいと思われ

るので、今ここで検討して話をお聞きするのが一番良いと思う。

【清水委員】

- ・始める時に地域からどんなことをしてもらいたかったか、始めたものの地域の人たちにもう少しこうしてもらえればありがたいというようなことを聞きながら進めた方が良いと思う。個人的な思いだけではなく、仲間づくりにどのように結び付けていくのか。もしかすると活発に動ける方法があるかもしれない。そのようなことを聞きながら、最終的なテーマである安心して住み続けたい牧区を見出していったらどうかと思う。

【佐藤委員】

- ・それぞれ自分で手を挙げて始めたということで、例を挙げると農業法人や木草庵が現在も続いている。牧区はそうやって自分から手を挙げて取り組む方が多く、観光振興会を作るなどして頑張っている。3名の方と話は異なるが、先日の日曜日に「トトロのお話会」ということで、お子さんや保護者の方に一緒に来ていただき、コーラスおおりの皆さんからもクリスマスソングを歌っていただいたり、お子さんと手をたたいたり、楽器を鳴らすなどして楽しい時間を過ごした。その中で、お父さんが子どもを3人連れて来たり、夫婦で来たり、家の都合で子どもだけ置いていき上の子が下の子の面倒を見ながら話を聞くなど、知らない親子連れや新しい世代の方が増えた。子どもだけで19人、保護者の方も合わせると30人程来られた。最初は雪の心配もあり1人、2人しか来ないと想定していたが、コーラスの方も13人来られ、賑やかにやらせていただいた。まだ牧区にはお子さんを連れた家族が多くいることを改めて感じた。予約をしなくても楽しく気楽に来ることができる行事にお子さんを連れた保護者の方も楽しみに来てくださることを改めて感じた次第である。皆さんそれぞれ自分の仕事を持ちながら行っているので、各々の都合を聞くことも必要である。加えて、横尾委員が言われたように班分けを行い、皆さんから同時に来ていただくことは難しいと思われるので、前回のスポーツ団体との意見交換会同様に出向く形が良いと思われる。そのような点では、牧区は働きかけ次第で良い方向へ動いてくださる方もいると思われるので、ぜひ実現したいと思う。

【坂井委員】

- ・私も3名の方に話をお聞きしたいという思いがある。理由として、店舗も徐々になく

なり大勢で団らんする場所も少なくなってきた中、元地域おこし協力隊が自主的にカフェや民宿を始めたり、荒井でポテト屋を開くことによって他区からも多くの子連れが来ている様子を見ると、何とかして牧区に人を呼びたいという思いがとてもある方たちだと思う。一方、個人で経営するにも限界があるため、そのような点を地域協議会や地域の方たちが支えて後押しできるようなことに取り組めれば良いと思う。3名の方たちも牧区に対しての自分たちの思いやこんなことをしてほしいなど、色々な意見があるのではないか。そのような点では、個々に話を聞くと話が弾まないのではないかという懸念もある。前回のスポーツ団体との意見交換会の様に7人、8人いれば色々な意見や発想が出てくるのと同様、3人しかいないのであれば3人一緒でも良いと思う。他にも難波委員が言われたように、自ら努力されている新柳やラーメン屋、深山荘の方たちをさらにバックアップするには何が必要なのかを聞ければ良いと思う。商売をしている人たちに、困っていることがあればどんどん出していただき、それを地域協議会でどうしたら課題として提起できるのかを考えてはどうかと思った。

【折笠委員】

- ・私も3名の方に限らず色々な方から意見を聞くのは良いことだと思う。話に出ている3名の方も、始められるにあたってはそれなりの決意や考え方など、根本的に強いものがあると思われる。例え、我々が結果的に何もできなくても話を聞くだけでも価値がある。

【小黒委員】

- ・前回欠席したため内容を本日初めて聞いたが、先程難波委員が言われたように3名の方は個人でそれぞれ経営している状況である。私は、佐藤委員が言われたようなコーラスや読み聞かせの人たちなど、まず団体の方の話を聞きたいと思う。理由として、意見交換会をスポーツ団体3団体と行ったので、その後は音楽などの文科系の人たちが活動されている話を聞いてみたい。個人の人たちはそれぞれ自分でやろうと思われられたので、委員の皆さんが言われているように色々な決意や状況があると思われる。しかし、ポテトヘッドの場合、仕事の合間を縫って店を開いており、簡単に言うと趣味である。それに対し、他2名の方は少し違う。だから、同じ括り・同じ状況はないと思われる。まず、読み聞かせの団体などにどういう気持ちでやっているのかなどを聞いて団体から団体へ広げていく。子どもたちが読み聞かせを聞きに来たという

状況があるなら尚更そちらの話をまず聞きたいと思う。

【井上委員】

- ・スポーツ団体に聞いたことを振り返ってもとても中身のある話が聞けるかと思い、話をお聞きするのを楽しみにしている。先程、佐藤委員から子どもがたくさん集まったという話があった。私は個人でもグループでもどちらでも良いが、どのような時に楽しみや喜び、充実感があるか、あわせてそれを実現するために難しいことなどを聞き、牧区に生きている・生活できる喜びや充実感を何らかの形で牧区の人たちに知らせ、良いことをお互いに共有できれば良いと思う。

【池田委員】

- ・私も前回欠席したが、確かに難波委員・小黒委員が言われたように、どうしてやろうと思ったのか聞いてみたいと思う一方、個人で経営されている点がどうなのかが正直なところである。今までなかったことをやろうと思われた方なので、話をお聞きして他にも手を挙げる方が出てくる状況を作ることも大事だと思う。仮に、そのように話を持って行くのであれば、清水委員が言われたように「牧づくり」なので地域とどのように関わるのが良いのかという方向性で話を伺うのが良いと各委員の意見をお伺いしながら思ったところである。

【飯田副会長】

- ・大体皆さんと同じ意見だが、まずスポーツ団体の若い保護者の方と話し合いを行わせていただき、不満や希望、どちらかという建設的な意見が多かったと思われる。それから全員ではなかったが牧振興会との意見交換では、なぜ今までこのような意見交換会がなかったのかという本音を聞けたと思っている。先般の地域協議会の中で、まだまだ探せばいると思われるが個人の方3名が挙げた。今の現状ではいけないことが発端となり、火をつけたのではないかと私は思う。なので、3名の方と意見交換の場を設け、自主的審議事項の裏づくりを行い、少子高齢化でますます人口が減少し暗くなる中で明るい話題を設けたり、「やろっさ！」という気持ちに結び付けられれば一番良いというのが個人的な意見である。

【西山会長】

- ・全員の方から意見を伺った。各委員の意見をお聞きしながら思ったが、先日情報番組で本草庵が取り上げられていた。評判も良く平日でも客が出入りし、店主自身も一生

懸命やっている。他にも新聞に広告を出す等、一つの成功例だと感じている。先程3名の方のお話も出たが、木草庵が可能であれば、一つの成功例として経営方針やどんな形でやっているのかなど、詳しいことを先にお聞きしてから3名の方に話を聞ければ、こちらの考え方や説明もある程度できると考えるがどうか。

【横尾委員】

- ・根強いファンがおり、聞く価値はあると思われる。一念発起するにあたってどう思ったのか突っ込んで聞いても良いと思われる。一方で、最初に話にあった3名の方のうち、元地域おこし協力隊はオフシーズンなのか。

【山岸所長】

- ・現在は、牧コミュニティプラザで高齢の方が集うよろばたの会に専属ではないが週1回お手伝いに行っている。

【横尾委員】

- ・とにかく牧区の人たちとのつながりを何らかの形で持ちたいというのが根底にあるという意味ではないのか。

【山岸所長】

- ・よろばたの会に関しては、どちらかと言うと声をかけられた形だと思われる。ただ、ご自身で成人向け・子ども向けの英会話教室を月曜日にコミュニティプラザで行っている。

【難波委員】

- ・くるみやは3月まで休みであり、ポテトヘッドも冬休みである。

【横尾委員】

- ・先程話に出た新柳や深山荘の方々に例えば地元で踏ん張る動機等、それぞれ聞く価値はあると思われる。

【西山会長】

- ・聞く価値はあるが、どういう形で踏み込んでいくかである。「始めた動機」などを聞くだけだと、何を目的にしているのか分からないという話になる。やはりこちらである程度決める必要がある。

【小黒委員】

- ・先程佐藤委員が言われた「読み聞かせの会」もかなり長いと思われる。

【佐藤委員】

- ・私も途中からなので詳しくは分からないが長いと思われる。亡くなったり家庭の事情で来られなかったりなど色々あって今のところ3人で細々としており、元地域おこし協力隊にも声かけをして英語の絵本を読んでもらったりしている。子どものことに長けた保育士や学校の先生等で退職された方をできるだけ確保してお話会を行っている。

【小黒委員】

- ・私はそちらの方に興味がある。

【佐藤委員】

- ・ただ、牧区は文化協会に参加している団体が15団体ある。牧区に住んでいる人だけではなく、他の区や上越市内に引っ越した方もまだ牧コミュニティプラザに来て一緒に活動しており、自主的に夢まつりを行うなど色々な分野で頑張っている。それこそ90歳から大ベテランの方が活躍しており、文化団体は絵から手芸まで多岐にわたるので聞きごたえはあると思う。

【西山会長】

- ・ある程度の団体から意見をお聞きした次の段階で、どういう形で団体を活性化していくのか議論していくと思われる。

【飯田副会長】

- ・一つよろしいか。前回の地域協議会では、なぜここで新たなことを立ち上げようとしたのかという点で3名の方が挙げられたと思う。西山会長が言われたように成功例や長年続いている団体など、様々な会や団体がある。ただ、前回の地域協議会ではなぜここで新たなことを始めようとしたのか。ましてや、地元出身の方がいる一方で区外から入ってきた方もいる。そこで意見をお聞きして自主的審議事項に結び付けられないかというふうに私は理解していたところである。意見を聞くことは我々が知らないことを吸収できるので非常に良いと思うが、前回の地域協議会の内容を思い出していただき、今回に結び付けた方が良いと思う。その点だけ整理した方が良いと思うかがか。

【清水委員】

- ・先日、新聞記事で上越市の人口減と掲載されていた。残念ながら、牧区は大島区に次

いで2番目であった。町場の方に行きやすいという現状もあるが、やはり外から来た方から元気をもたらって地元の人も頑張るといことが今最も必要なことだと考える。なので、先日話に出させていただいたように、新しい動きを出してくれた人たちが地域に対してどのようなことを考えているか、そしてどのように輪を広げていけるかなどの意見を聞く形で整理していけば良いのではないかと考える。

【西山会長】

- ・確かに、地域協議会からこのようにすれば良いと提案することはできず、我々に意見を求める場面は少ないと思う。むしろ、3名の方から考え方や要望をお聞きして補助できるものがあれば補助するような形で、副会長が言われたように自主的審議事項の中に反映させる形が考えられる。

【難波委員】

- ・欠席したので前回のことはよく分からないが、飯田副会長や清水委員の話を聞いて、3名のうち1名は地元の方だか、長くいらっしゃるものの他2名の方は他から来られた。そういう方々が牧区に入り一念発起して行う気持ちでやってくさっているの、やはり聞く価値はあると思う。私も含め牧区で育った方が多く、灯台下暗しで良いところ・悪いところが気づかないものである。事務局内の隠田次長や田中主事も牧区外から入って来て、地元で生まれ育った方より牧区を感じていると思われる。それらも含めて、なぜここで一念発起して始めたのかも聞きし、冒頭でも申し上げたように色々な団体に話を聞くのが良いと思う。文化協会関係やよもぎの会などの法人関係、公社などそれぞれの団体がある。個人の方の話を聞いて、それから広く色々な方の意見を聞く。牧振興会の話を聞いて特に思ったが、お金がないなどそれぞれ抱える悩みがある。我々地域協議会でできることはないかもしれないし、あまり風呂敷を大きくするとまとめにくくなると思われるが、聞いた中から考えられることや検討できることを探していけば良いと思う。

【西山会長】

- ・では、これから具体的に方法を決めていくが、意見交換会をやる方向で良いか。
(一同、異論なし)
- ・では、3名の方にこちらから伺うか、あるいは来ていただくかはどうするか。

【清水委員】

・坂井委員の意見をお聞きしたら、3名そろって意見交換をする方が良いと感じた。

【西山会長】

・事務局から3名の方に話の内容をお伝えし、逆に向こうに聞いてみるのはどうか。

【小黒委員】

・とりあえず相手方に出向くか、来てもらうか打診をしてからで良いと思う。

【西山会長】

・それでは、事務局から先に相手方へ聞いてもらうこととする。次に3名の方に何を聞くのか。

【山岸所長】

・来てもらうか、もしくは出向くかは相手方に確認するため次回の話となる。今回の話の中で、始めた動機を聞きたいなどが出たが、次回整理していただければと思う。皆さんはいかがか。

【難波委員】

・まず一つは始めた動機である。

【西山会長】

・3名の方に何をお聞きするのかやグループあるいは全員といった、どのような形で行うのかは次回決めることとする。このことに関して他にご意見等はないか。

【山岸所長】

・時期はどうするか。

【難波委員】

・年度中である。事務局が3月までに代わることも想定される。

【西山会長】

・市長が来年度の地域協議会をどう捉えるかにもよる。

【小黒委員】

・やめると言われればなくなる。

【難波委員】

・やめる場合でも、年度中の3月末までは現在の体制だと思われる。相手があることなので2月が良いのか3月が良いのかは分からないが、3月までに取り組みたい。

【西山会長】

- ・1月の地域協議会で意見をまとめ、考えをある程度固めることとする。

【難波委員】

- ・一つよろしいか。色々な人の意見を聞く中で、新しく事業を始められた方や牧区を出ていく方もいる一方、区外から来ている方も多くいる。やはり、何かあるから牧区に住んでいると思われる。他の方から見た牧区が良いか悪いかは分からないが、今後可能であればそういう方から意見を聞くのも一つの手段だと考える。

【西山会長】

- ・難波委員の意見について、それぞれ個々に聞くのか、あるいは時期を見てアンケートを取るような形にするかも次回の地域協議会で考えることとする。

【難波委員】

- ・面と向かって話すのは憚られると思うので、アンケートで取り組み始めるのも良いと思う。それらも念頭に置いていただければと思う。

【西山会長】

- ・自主的審議事項に関しては、本日の協議内容としてまとまったので次に進行してよろしいか。

(一同、異議なし)

- ・続いて、連絡事項について事務局に求める。

【藤井班長】

- ・4区地域協議会合同研修の開催結果について
- ・地域協議会会長会議の開催について
- ・「牧区地域協議会だより（第53号）」12月25日号発行について
- ・次回、第9回牧区地域協議会は、年間スケジュールから日程を変更して1月19日水曜日、午後6時からとなる。後日案内文を送付するので、その際に出欠の報告をいただければと思う。

【難波委員】

- ・一つお聞きしたい。コロナウイルスの関係だが、ここに来てまた新型のウイルスが出たと全国レベルで騒がれており、新潟県の感染者数も大阪府を超えたり東京都に近づいたりしている。幸い上越市は出ていないので良いと思うが、マスクや手洗いは当然のこととして、今後忘年会や町内でも近々新年会などが始まってくると思われる。市

長も経済を回すために行う方針を示しており、いくつかの企業でも実施するとのことだが市としての方針を今一度教えていただきたい。

【山岸所長】

- ・おっしゃるとおり、市長からは県知事の話も受けて新型コロナウイルスが長引くことを考慮して経済対策への取組も必要との発言もあり、職員も時期なので忘年会等を計画して行っているところである。人数制限の話はないが、定員の50%以下の人数で実施というところである。昨日も庁舎で会議があったが、ブレーキを踏みながらアクセルも踏まなければならないという難しい運転という話があった。実際に私たち総合事務所の職員も、先週の金曜日に総勢21名で新柳にて忘年会をやらせていただいた。

【難波委員】

- ・定員42名の所を21名でということか。

【山岸所長】

- ・そのとおりである。定員は分からないが広い会場で行った。牧振興会主催の新年会は早々に中止が決まったが、他区では開催するところもあるとのことである。県内では小学校のクラスターも発生しているが、ワクチン接種の状況や上越市は幸い出ていない状況など、昨年よりは賑やかな感じだと思う。市長の発言もあったため、私どもも区内で大いにお金を落とそうと計画したところである。

【横尾委員】

- ・その後の予防注射は、何か話はあったのか。

【山岸所長】

- ・3回目の接種は、医療従事者は12月から始まっており、一般の65歳以上は2月の下旬頃と想定している。個別接種と集団接種があり、医院等で受診される方は自身で医療機関と調整し、集団で接種される方は板倉農業者トレーニングセンターが会場となる。

【横尾委員】

- ・接種券専用アプリについてはどうか。

【山岸所長】

- ・昨日から運用が開始された。マイナンバーカードなどが必要となる。2回接種が終わっている証明になる。

【坂井委員】

- ・ 2点ほどある。その他連絡事項の中で1月22日に議会との意見交換会があることに際し委員にアンケートを依頼するとのことだが、地域協議会委員が現在12人いる中、私自身新しく入ったので意見と言ってもはっきりと言える部分もない。なので、過去に委員を務め退任された方にもアンケートを実施して20人、30人規模で取りまとめてはどうか。委員をやめても、課題については継続されていたと思う。もう1点、牧区地域協議会だよりについてである。文章の中で様々な意見を寄せてほしいと記載されているが、実際に電話番号や担当が記載されていないためどこに問い合わせれば良いのか明確でない。既に皆さんご存じかと思うが、あえて連絡先を入れるのも一つの手だと思う。

【西山会長】

- ・ 坂井委員の意見もごもつともであるが、アンケート調査の範囲をあまり広げてしまうと集まる件数も多くなる。2時間程度の説明で各会長も28人いる。各々に発表する場合、時間も限られ多く話すことができないと思われるので、ここにいる方の意見を聞けば十分である。皆さん慣れているので範囲はあまり広げなくて良い。

【小黒委員】

- ・ それぞれの区といっても地域協議会委員の数は決まっている。当然その人たちの意見を集約して会長が発表するので増やしてはいけない。

【西山会長】

- ・ 他区がどのように集約するかは分からないが、おおよそ同様の方法だと思われる。

【山岸所長】

- ・ アンケートも全ての項目を埋めなければならないという気持ちでなくて良い。分からないところは空欄で提出していただければと思う。

【西山会長】

- ・ 牧区は地域活動支援事業の予算が毎年超過する傾向であり、バランスを上手く取るために人口割ではなく状況に応じた配分額をいただきたい旨を述べたいと思っている。

【山岸所長】

- ・ 2点目の地域協議会だよりに関して、本日ちょうど町内会長宛の棚入れ日で印刷も終わっている。坂井委員の意見もごもつともだと思うので、次回からの反映とさせてい

ただきたい。

【西山会長】

- ・本日の審議内容が全て終了した。飯田副会長に閉会のあいさつをお願いする。

【飯田副会長】

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-533-5141 (内線 147)

E-mail : maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。